

平成二十四年度調査

平成二十五年三月発行 国土交通省 国土政策局



1. 地盤沈下

①(2) ④(5)

①水準点・水準基準番号
②集計期間
③集計期間の累積沈下量 (単位: cm)
④集計期間の最大沈下量
⑤集計期間の最大沈下量 (単位: cm)

③ 集計対象外とした水準点・水準基準
--- 地盤沈下集計単位地域界(中遠地域、西遠地域)

累積沈下量 (cm)	
■ (Red)	-100cm以上
■ (Pink)	-50~-100cm未満
■ (Orange)	-25~-50cm未満
■ (Yellow)	-10~-25cm未満
■ (Light Blue)	-5~-10cm未満
■ (Light Green)	0~-5cm未満
■ (Dark Green)	0cm未満

※数値はマイナス値が沈降、プラス値が隆起を表す。

【資料】

① 静岡県くらし・環境部環境局水利用課
静岡県地盤沈下調査結果中遠地域、2004

② 静岡県くらし・環境部環境局水利用課
平成16年度中遠地域地盤沈下調査変動量図、2004

③ 静岡県くらし・環境部環境局水利用課
静岡県地盤沈下調査結果西遠地域、2007

④ 静岡県くらし・環境部環境局水利用課
平成19年度西遠地域地盤沈下調査変動量図、2007

【注】

集計期間中に移転・改定があった水準点・水準基準は集計対象外とした。調査期間詳細は以下のとおり。

<中遠地域>
昭和55年、昭和57年、昭和59年、昭和62年、平成2年、平成6年、平成10年、平成16年

<西遠地域>
昭和54年、昭和57年、昭和59年、昭和61年、平成1年、平成5年、平成9年、平成12年、平成19年

※1) 地点番号144の数値については、この地点で磐田バイパス工事が行われており、その影響により大きな数値となっていると考えられる。
※2) 地点番号チ-17の数値については、樺石の人為的な移動形跡が認められるため、全体的には沈下傾向が認められるが、その影響が含まれていると考えられる。

- 摘要**
- 経緯度の基準は世界測地系
 - 撮影はユニバーサル横メルカトル図法、座標帯は第53帯、中央子午線は東経135°
 - 作業機関 昇寿チャート株式会社
 - 背景地図 数値地図50000 (地図画像) 磐田 平成20年修正 掛塚 平成3年修正
 - 対応する二次メッシュコード 513776, 513777, 523706, 523707, 523716, 523717

行政区画

索引図

三河大野 (豊橋)	天竜 (静岡)	家山 (静岡)
浜松	磐田	掛川
(伊良湖町)	掛塚 (御前崎)	御前崎 (御前崎)

()内は所属20万分1地形図名

静岡県
1. 浜松市 2. 磐田市 3. 袋井市
4. 掛川市 5. 周智郡

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図、数値地図50000 (地図画像) を使用した。(承認番号平24 情使、第534号)